

区民等の意見提出手続き（パブリックコメント）の結果をお知らせします

いずれも策定に先立ち、「杉並区区民等の意見提出^{てつづ}手続きに関する条例」に基づき、「広報すぎなみ」①8月1日号②9月15日号などで公表し、皆さんからご意見を伺いました。

なお、策定した計画の全文、いただいたご意見の概要と区・教育委員会の考え方等は、下記の閲覧場所のほか、区政資料室（区役所西棟2階）、区民事務所、図書館で①4年1月13日②15日まで閲覧できます（いずれも各閲覧場所の休業日を除く）。また、区ホームページ（右2次元コード）でも閲覧できます。



①みんなのしあわせを創る杉並の教育 「杉並区教育ビジョン2022」を策定しました

教育委員会では、4年度からおおむね10年程度を期間とし、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げる新たな教育ビジョン「杉並区教育ビジョン2022」を策定しました。

新たな教育ビジョンは、「人生100年時代」を、区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるためのよりどころとなるよう、杉並の教育の基本的な考え方を示すものです。また、教育基本法第17条第2項の規定に基づく杉並区の教育振興基本計画として位置付けます。

——問い合わせは、庶務課へ。

●意見提出期間=8月1日～31日 ●意見提出件数=28件（延べ79項目）

いただいた主なご意見の概要と教育委員会の考え方

ご意見の概要	教育委員会の考え方
抽象的な言葉が多く、他の自治体でも当てはまりそうな内容である。もっと杉並区らしさが出るとういのではないかと。	現在の「杉並区教育ビジョン2012」に掲げた「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」のもと、全国に先駆けて家庭・地域・学校（園）の協力を得て築いてきた基盤の上に「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を共有していくところに、杉並の特徴があると考えています。
目指す人間像を定めないので、計画の位置付けにおいて、「区民誰もが学びを通して自分らしく豊かに生きるための羅針盤」というのは矛盾しているのではないかと。	より分かりやすい表現となるよう、「羅針盤」を「よりどころ」に修正します。
「思いをおくり合う」とはどのような意味か。また、なぜ平仮名で記載しているのか。	「思いをおくり合う」は、思いを「送り合う」と「贈り合う」という両方の意味を込めて用いています。また、こうした言葉の多義性により一人一人に想像してもらいたいという観点から、平仮名で記載しています。
教育行政の具体策を出してほしい。	新たな教育ビジョンは「区民と区にとっての杉並の教育の基本的な考え方を示すものとする」という観点から、教育行政の取り組みは方向性についての記載にとどめています。教育行政の具体策は、今後策定する新たな教育ビジョン推進計画において定めていきます。

策定した計画の全文、いただいたご意見の概要と教育委員会の考え方等の閲覧場所

庶務課（区役所東棟6階）

教育長からのメッセージ

新たな教育ビジョンの策定は、「子どもを中心に据えて、教育に関わる大人も子どもも全ての人々、一人一人が主役となる教育ビジョンにしよう」というところから始まりました。策定に当たっては、子どもたちを含む区民アンケートやシンポジウムにおいて寄せられた多くの声、そして活発に行われた杉並区教育振興基本計画審議会の議論がありました。こうした多くの声や活発な議論ができたのは、これまで杉並区が取り組んできた「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の成果であり、それが「杉並区教育ビジョン2022」として結集したものと考えています。

教育委員会では、この10年、家庭・地域・学校（園）の協力のもと、誰もが当事者として教育に関わる環境づくりを進めてきました。現在の教育ビジョンを人々の力を合わせていく、いわばたし算のビジョンとす

ると、新たな教育ビジョンは、これまで築いてきた杉並の教育を土台として、学んだ成果を他者と贈り合いながら、人と人とのつながりが2次的に、多面的に広がっていく、かけ算のビジョンであると私は考えています。

将来を見通しにくい社会の中であっても、誰もが自分らしく生きることを大切にしながら、みんなのしあわせを創るためには、一人一人が当事者として共に認め合いながら、協力して社会を創り、担うこと、そして、それを支える教育の力が欠かせません。

新たな教育ビジョンをみんなで共有し、みんなのしあわせをみんなで創る教育を実践していきましょう。



教育長
白石高士

②「第11次杉並区交通安全計画」を策定しました

——問い合わせは、杉並土木事務所交通安全係☎3315-4178へ。

●意見提出期間=9月15日～10月15日 ●意見提出件数=3件（延べ4項目）

いただいた主なご意見の概要と区の考え方

ご意見の概要	区の考え方
大宮八幡宮前の危ない交差点について、自動車や自転車の利用者への注意喚起のため、監視カメラと看板を設置してほしい。	具体的な事案に対するご要望につきましては、個別に対応します。
自転車利用者の交通ルール違反やマナーの悪さが気になる。区内の小学校、幼稚園、保育園等で保護者を対象に警察と連携して自転車講習会を開催してはどうか。警察署員だけでなく、不法駐輪監視員が自転車利用者へ注意喚起してはどうか。	これまでも小学校の自転車講習会や保育園、幼稚園等の集まりの際に、保護者を対象とした講習会を実施しています。今後もさまざまな啓発の機会を捉え、交通安全教育に取り組んでいきます。また、安全パトロール隊の区内巡回時、交通法規に違反する自転車運転者に対し、状況に応じて注意喚起等を行っています。今後も日々の声掛け等を通じ、自転車利用者のルール順守、モラル向上を図っていきます。また、引き続き各警察署による取り締まりも区内各所で行っていきます。

策定した計画の全文、いただいたご意見の概要と区の考え方等の閲覧場所

杉並土木事務所（成田東3-17-30）

令和3年を振り返る 杉並区の主な出来事



昨年に引き続き、本年も社会全体が新型コロナウイルス感染症対策に追われた一年となりました。区の取り組みなどを振り返ります。



新たな多世代型施設 「コミュニティふらっと」の開設

子どもから高齢者までの多世代が集い交流する新たな地域コミュニティ施設「コミュニティふらっと」（阿佐谷、東原、馬橋）を開設しました。また、4月には、永福図書館と複合化した「コミュニティふらっと永福」を開設し、複合施設のメリットを生かした運営を進めています。



▲コミュニティふらっと永福

新型コロナウイルス感染症病床確保のための転院支援事業の開始

コロナ病床の入院患者が治療後、基礎疾患等で引き続き入院が必要な場合、転院受け入れ病院へ必要な財政的支援を行うことで転院を促進し、コロナ病床の確保を図りました。



児童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備

一人一人の能力や特性に応じた学びと協働的な学びに加え、非常時等のオンライン学習にも対応できる環境を整備しました。



4年連続で保育の待機児童ゼロの実現

4月入所における保育の待機児童ゼロを実現しました。

農福連携農園すぎのこ農園の全面開園

23区初となる農福連携農園（愛称「すぎのこ農園」）は、江戸時代中期の農家住居を活用した管理棟が完成し、4月に全面開園しました。障害者等の就労支援や福祉施設への農産物提供などに取り組むと共に、今後は区民・地域と連携したイベント事業も進めていきます。



新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の開始

4月の高齢者施設での接種を皮切りに、桃井原っぱ公園（仮設会場）をはじめ集団接種会場6カ所と区内医療機関で接種を開始しました。その後も集団接種会場の拡大（最大11カ所）や夜間接種、200を超える診療所での接種により機会の拡充を図りました。



現在、8割を超える区民が2回目接種を終えています。



対話型AIロボットの設置

来庁者への庁舎案内業務を行う対話型AIロボットを、区役所ロビーに設置しました。



▲ロボコット



2021杉並区プレミアム付商品券の発行

コロナ禍における区民の生活を応援するとともに、区内商店を幅広く支援するため、30%のプレミアム付きの商品券（紙商品券・デジタル商品券）を、約10億円分発行しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会の事前キャンプ受け入れ等

高円寺体育館においてウズベキスタンボクシング選手団、永福体育館においてイタリアカヌー（スプリント）選手団が事前キャンプを実施しました。江戸手妻や阿波おどり演舞など杉並ならではの交流を行いました。



IoT街路灯システムによる 河川ライブカメラの配信開始

水害への迅速な対応や避難行動を起こす際の判断に活用できるよう、23区では初の試みとなるYouTubeでの河川映像のリアルタイム配信を開始しました。



自宅療養者支援ステーションの開設

新型コロナウイルスに感染した自宅療養者の体調管理や必要な物資の配達等を円滑に行うため、大幅に応援職員を増やし、3カ所の保健センター内に「自宅療養者支援ステーション」を設置しました。



新たな杉並区基本構想の策定

区が目指すおおむね10年後のまちの姿を「みどり豊かな住まいのみやこ」とした新たな基本構想を、区議会での議決を経て策定しました。



シェアサイクル実証実験の開始

公共交通の機能補完や観光振興等に資するシェアサイクルの有効性および課題を検証するため、民間事業者と協定を締結し、実証実験を開始しました。

詳細は、10面をご覧ください。

特別養護老人ホーム 「10年1000床整備計画」の達成

天沼3丁目に区内最大級の特別養護老人ホーム「フェニックス杉並」（定員180名）が開設されたことにより、「平成24年度からの10年間で1000床増床」の整備目標を達成しました。



▲フェニックス杉並

自転車でさまざまな可能性が広がるかも！

シェアサイクルの実証実験を始めます



区では、公共交通機能の補完、観光振興、災害時の移動支援等の効果を検証するため、シェアサイクルの実証実験を行います。

シェアサイクルは、区内外問わず気軽に利用することができ、コロナ禍においては三密を避ける移動手段として活用が期待されています。

— 問い合わせは、都市整備部管理課交通企画担当へ。

実証実験の概要

区が、公有地（区立公園・自転車駐車場等）の一部をサイクルポートとして民間のシェアサイクル事業者に貸し出すなど、官民連携してシェアサイクル事業に取り組んでいきます。その導入効果を検証し、5年度以降の事業化に向けて具体的な検討を行います。

実施期間 5年3月31日まで

実施区域 区内全域（公有地10カ所程度〈12月15日現在〉）
サイクルポートの設置場所は、運営事業者のホームページで順次掲載します。

運営事業者

- OpenStreet（港区海岸1-7-1）
- ※ HELLO CYCLING（ハローサイクリング）のサービス事業者

利用方法

専用アプリ「HELLO CYCLING」をダウンロードし、利用者登録をします。事前にアプリ上で利用予約を行うことで、予約したサイクルポートで自転車を借りることができます。返却の際は、利用中に返却したいサイクルポートを予約し、所定のサイクルポートに自転車を返却します。

利用料金

15分/70円（上限12時間/1000円）
詳細は、HELLO CYCLINGのホームページ（右2次元コード）をご確認ください。
利用に関するお問い合わせは、HELLO CYCLING お客様サポート窓口 ☎050-3821-8282へ。



税務署からのお知らせ

確定申告書作成会場を開設します！

時4年2月1日(火)～3月15日(火)午前8時30分～午後5時（受け付けは4時まで）
場 圃杉並税務署（成田東4-15-8 ☎3313-1131）、荻窪税務署（荻窪5-15-13 ☎3392-1111）
☑ 「入場整理券」の配布状況に応じて、受け付けを早く締め切る、または後日の来場をお願いする場合があります。車での来署不可

杉並・荻窪税務署では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、自宅での確定申告をお勧めしています。既にマイナンバーカードを取得している方のほか、ID・パスワードがあれば、自宅のパソコンやスマートフォンから簡単に確定申告ができます。まだID・パスワードを取得していない方は、税務署で随時ID・パスワードを発行（おおむね5～10分程度で取得可。本人以外への発行は不可）できます。

※税務署でのID・パスワードの取得には、本人確認書類（運転免許証や保険証など）が必要です。

※マイナンバーカードの取得に関しては、マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178にお問い合わせください。

ご寄附ありがとうございました



9・10月（広報すぎなみ10月15日号掲載分を除く）のご寄附（敬称略・順不同）

【社会福祉基金】 明治安田生命保険相互会社 ▶ 杉並区綱引連盟 ▶ 井本剛司 ▶ 鈴木宏昌 ▶ 匿名および氏名のみ公表分計 = 76万5500円

【みどりの基金】 みどりの保全 = 成田西ふれあい農業公園来場者有志 = 7万6584円 ▶ 「下高井戸区民集会所まつり」参加者有志 = 1万4808円 ▶ 山田彰 = 1万円 ▶ 津留田宏 / (仮称) 荻外荘公園などの整備 = 有坂幹朗 = 20万円 ▶ 森田テルミ = 10万円 ▶ 桑原雅弥 = 1万円 ▶ 南雲信之 ▶ 峯岸誠 ▶ 東京カートグラフィック株式会社代表取締役・西山和輔 ▶ 玉井正明 ▶ 田中璃欧 ▶ 山田房枝 ▶ 佐藤美菜子 ▶ 降旗謙一 ▶ 匿名および氏名のみ公表分計 = 59万9300円

【NPO支援基金】 NPO支援基金普及活動協力者 = 6991円 ▶ 匿名分計 = 15万円

【次世代育成基金】 有限会社大和不動産 = 10万円 ▶ 杉並区立松ノ木中学校PTA = 1万5000円 ▶ 上井草結いの会 = 6337円 ▶ 渡邊豊子 = 30万円 ▶ 岡崎一夫 = 2万円 ▶ 泉雅子 = 2万円 ▶ 山村隆 = 1万円 ▶ 杉並区立神明中学校PTA ▶ 株式会社ディッグ ▶ 對馬洋子 ▶ 増井ゆり子 ▶ 中鹿慶子 ▶ 浅原元次郎 ▶ 村野慶多郎 ▶ 井本剛司 ▶ 匿名および氏名のみ公表分計 = 256万9714円

【日本フィル被災地支援活動寄附】 清水照子 ▶ 匿名および氏名のみ公表分計 = 4万円

【杉並区応援寄附金】 匿名分計 = 1万円

【新型コロナウイルス感染症対策寄附金】 NPO法人さらプロジェクト = 4万1737円 ▶ 伊藤明彦 = 1万円 ▶ 匿名分計 = 25万2000円

まもなく受け付け終了です！

新ビジネススタイル事業導入助成

区は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げの減少等があった中小事業者に対し、売上げの回復、事業形態の転換、新事業の開拓などを行うために必要な経費の一部を助成しています。

— 問い合わせは、産業振興センター就労・経営支援係 ☎5347-9077へ。

事業期間 4年3月31日まで（申請は1月31日まで）

補助率 対象費用額の3分の2（上限50万円）

助成対象事業 区内中小事業者が区から派遣されるアドバイザー（中小企業診断士）の助言等を受けて策定した計画の事業
・事業形態の転換（テレワーク等のための通信環境等の整備、衛生環境等の改善、キャッシュレス等の導入等）
・新事業の開拓（新たな販売形態・設備投資・機器導入、新事業開拓に伴う人材育成・訓練・研修〈eラーニングを含む〉等）

対象経費 周知費、物品費、工事費、人材育成費、その他諸経費（eラーニングや講習会に係る費用等）

詳細は、区ホームページ（右2次元コード）をご覧ください。



広告



紹介施設は全国多数！ 紹介実績 18年の豊富な経験と専門知識

日本老人ホーム紹介サービスセンター



ご相談は「無料」で入居のお手伝い
www.rojin-home.com



0120-807-407

※広告の内容については、各広告主にお問い合わせください。広告掲載のお問い合わせは広報課へ。

地域区民センター協議会が企画する催し・講座など

コミュニティー通信

詳細・問い合わせは、各地域区民センター協議会へ
(月～金曜日午前8時30分～午後5時〈祝日、年末年始を除く〉)

★は、地域の団体との協働事業です。

毎月15日号に掲載

井草地域区民センター協議会

〒167-0022下井草5-7-22
☎3301-7723
HP<https://www.igusahome.org/>

宇宙の拡がり

時4年1月16日(日)午前10時・10時50分・11時40分 場同センター 定各30名(抽選) 申往復はがき(12面記入例)で、12月24日(必着)までに同協議会。または同協議会ホームページから申し込み 他手話通訳あり(事前申込制)。長寿応援対象事業▶協働=社会教育センター

西荻地域区民センター協議会

〒167-0034桃井4-3-2
☎3301-0815
HP<https://nisiogi-kyogikai.org/>

新春初市きずなまつり★

時4年1月16日(日)①午前9時～11時②午後1時～3時 場西荻南区民集会所(西荻南3-5-23) 定①スタンプラリー(小学生以下の方対象。150名に景品あり〈先着順〉)、大宮前郷土芸能保存会の獅子舞・おはやし上演など②落語▶出演=古今亭圓菊、台所おさん 定②30名(先着順) 他協働=西荻東銀座会、西荻南きずなサロン

荻窪地域区民センター協議会

〒167-0051荻窪2-34-20
☎3398-9127
HP<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

新春講演 天才・手塚治虫との対話から

時4年1月22日(土)午後1時30分～3時 場同センター 定国立公文書館前館長・加藤丈夫 定30名(抽選) 費200円 申往復はがき(12面記入例)で、4年1月9日(必着)までに同協議会

阿佐谷地域区民センター協議会

〒166-0004阿佐谷南1-47-17
☎3314-7215
HP<http://www.asagaya-kyogikai.org/>

「カーレット講座」～障がい者も健康者も気軽にできる卓上カーリング

時4年1月30日(日)午後2時～4時 場同センター 定NPO法人カーレットジャパン協会理事長・田邊陽二 定20名(抽選) 申往復はがき(12面記入例)で、4年1月15日(必着)までに同協議会。または同協議会ホームページから申し込み 他長寿応援対象事業

高円寺地域区民センター協議会

〒166-0012和田1-41-10
☎3317-6614
HP<https://www.koenji-kyogikai.org/>

健康講座「夫婦間のイライラを楽にするヒント」

時4年1月19日(水)午前10時～11時45分 場高円寺北区民集会所(高円寺北3-25-9) 申往復はがき(12面記入例)で、4年1月6日(必着)までに同協議会。または同協議会ホームページから申し込み

健康講座「子育てのイライラと上手に付き合うコツ」

時4年1月29日(土)午後1時30分～3時15分 場和田区民集会所(和田2-31-21) 申往復はがき(12面記入例)で、4年1月13日(必着)までに同協議会。または同協議会ホームページから申し込み

…… いずれも ……
場杉並区まちづくり団体ひとの樹・大野由美 定20名(抽選) 費100円 他長寿応援対象事業

永福和泉地域区民センター協議会

〒168-0063和泉3-8-18
☎5300-9412
HP<https://member.sugi-chiiki.com/eifuku-izumi/>

江戸の文化と川柳を学び・創作への誘い

時4年1月14日(金)・21日(金)午前10時～正午(計2回) 定全日本川柳協会常任幹事・竹田光柳 定20名(抽選) 申往復はがき(12面記入例)で、12月26日(必着)までに同協議会 他長寿応援対象事業

スパイスとハーブの効用について

時4年1月22日(土)午後1時～3時 場フードライフデザイナー・深田和恵 定20名(抽選) 申往復はがき(12面記入例)で、4年1月12日(必着)ま

でに同協議会 他長寿応援対象事業
子どもまつり「永福和泉こどもの絵美術館」出展者募集
場展示期間=4年1月22日(土)～30日(日)午前9時～午後9時 定区内在住・在学の小学生以下 申絵の裏に名前(ふりがな)・年齢・学年・住所・電話番号を書いて、4年1月14日(必着)までに同協議会へ郵送・持参 定1人1作品まで。A3サイズまたは八つ切り。用紙は各自で用意(4年1月13日まで同センターでも配布)。絵は同センターで返却(4年2月1日～2月10日〈土・日曜日、祝日を除く〉)。参加記念品あり
…… いずれも ……
場永福和泉地域区民センター

お得に、カンタンに、自然の電気を利用してみませんか?

「みんなでいっしょに自然の電気」キャンペーン

みい電



太陽光や風力などの自然由来で環境に優しい電気を提供する電力会社の料金メニューを東京都が提案します。詳細は、同キャンペーンホームページをご覧ください。

対象 首都圏在住の世帯、商店、小規模オフィスほか(従量電灯B・C)
参加登録期間 4年1月31日まで

場「みんなでいっしょに自然の電気」キャンペーン事務局☎0120-267-100(固定電話)、☎0570-058-100(携帯電話) / 午前10時～午後6時(土・日曜日、祝日を除く)

交流自治体からのお知らせ

新潟県小千谷市 おぢやフェア

時12月26日(日)午前11時～午後1時30分(売り切れ次第終了) 場小千谷学生寮(井草4-16-23) 定笹団子や小千谷そば、魚沼産コシヒカリ米ほか特産品の販売 場小千谷産業開発センター☎0258-83-4800 他車での来場不可。買い物袋持参。混雑時は人数制限あり

区民が創る情報サイト すぎなみ学倶楽部



「杉並風土記」の著者 郷土史家・森泰樹さん

昭和45年、50歳になったのを機に家業を解散し、本格的に郷土史研究を始めました。古代から現代までの歴史・伝説などを解説する大作「杉並風土記」を含む、6冊の著書が、区の歴史を知るための基本資料としてすべての区立図書館に配架されています。

詳しくは

すぎなみ学 森泰樹

または



場産業振興センター観光係☎5347-9184

12月15日からの広報番組「すぎなみスタイル」のテーマは

みんなの心に豊かな実り すぎのこ農園 秋の収穫体験



農福連携農園。それは、農業と福祉が手を取り合い、障害者や高齢者などの「生きがいづくり」や「働く喜び」など、大きな成果を实らせようという取り組みです。今回は、農福連携農園「すぎのこ農園」で行われた秋の収穫体験の様をお届けします。



● 視聴方法 ●

- ・YouTube杉並区公式チャンネル
- ・J:COM東京 地上デジタル11ch(午前9時、正午、午後8時から毎日放送)



場広報課

※広告の内容については、各広告主にお問い合わせください。広告掲載のお問い合わせは広報課へ。